

TEISEN REPORT

第90期中間報告書

自 平成27年 1 月 1 日

至 平成27年 6 月30日

帝国纖維株式会社

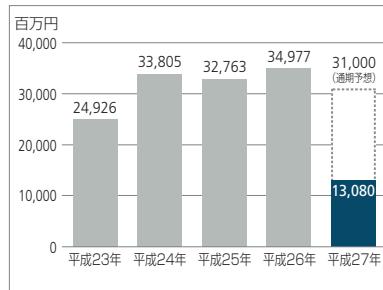
当社グループは創業時から受け継がれた「社会の安全、生活文化の向上に貢献する企業」を基本理念とし、戦前は製麻事業を中心に広く国家的貢献を果たし、また、近時は総合防災事業とリネン事業という2つの価値ある事業を通じて、1世紀以上に亘り、社会・国民の安心・安全と良質な生活文化の向上に貢献してまいりました。

当社グループは、これらの事業活動を通じて、「一味ちがった優れた企業」「発展し成長を続ける企業」「社会や公共に大きく貢献する企業」の実現を目指しております。

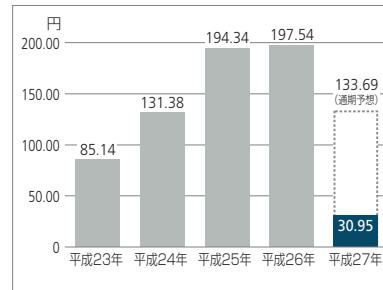
目次

経営理念	1
連結財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
営業概況・今後の見通し	3
セグメント別の概況	4
中期経営計画「帝国繊維2016」	5
四半期連結財務諸表	7
会社概要・株式情報	9
株主メモ	10

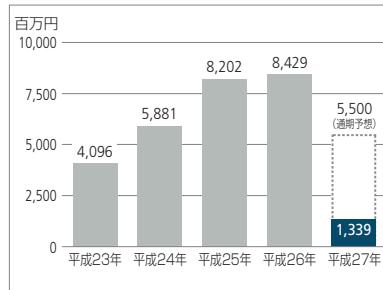
売上高



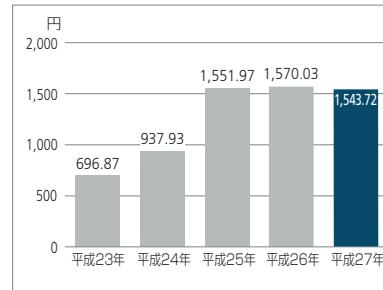
1株当たり当期(四半期)純利益



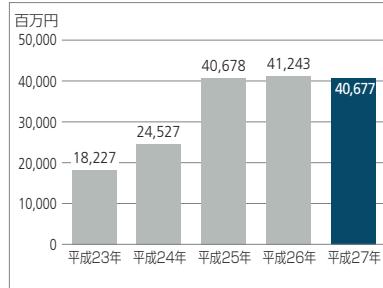
経常利益



1株当たり純資産



純資産



■ ご挨拶

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第90期上半期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、平成26年度から中期経営計画「^{テイイセン}帝国繊維2016」をスタートさせ、**「大規模災害への備えは社会の急務 我々はその事業をもって 役割を完遂しよう」**を目標に、グループ一丸となって取り組んでおります。

昨年来の全国各地で活発化する火山活動、太平洋プレートが震源と見られる頻発する地震の発生、恒常化しつつある異常気象など、様々な災害に係る防災・減災対応という当社が中期経営計画で掲げたテーマは、ますますその重要性・緊急性を増しつつあります。東日本大震災の教訓を踏まえた官民挙げての「国土強靱化」に向けた取組みを背景に、防災事業の裾野は飛躍的に拡大し、総合防災企業としての当社の社会的使命も格段に高まっております。

第90期上半期の業績は、営業概況でご報告のとおり、前年同期比減収減益とはなりませんが、当初見込み通りの業績を挙げることができました。

当社グループといたしましては、グループの総力を挙げて、中期経営計画「^{テイイセン}帝国繊維2016」を完遂することで、時代の強い要請である社会の防災・減災ニーズに応えてまいります。

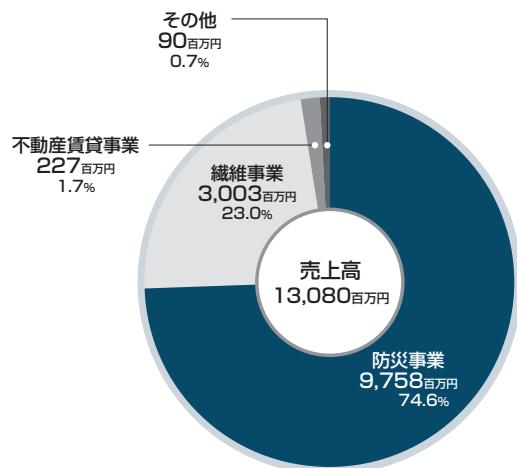
何卒株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長
飯田 時章

平成27年9月

営業概況



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策を背景に、雇用・所得環境が改善し個人消費も持ち直しつつありますが、不安定な海外経済の影響などもあり、不透明な状況で推移いたしました。

東日本大震災以来、防災・減災対策の在り方・概念そのものが根本から見直される大きなうねりの中で、国・地方自治体はもとより、産業基盤を担いあるいは危険物等を取り扱う民間大手企業など、官民挙げての防災・減災対策が実施されてまいりました。

特にここ3年、当社グループは、消防防災の大きなテーマでもある緊急消防援助隊の増強、消防団を中核とした地域防災力の充実強化、大規模地震に備えた減災対策などに向けて、それぞれに相応しい防災資機材・装備・特殊車両のご提案など、積極的に応需してまいりました。また、民需防災の分野でも、多数の原子力発電所を擁する電力会社を中心に、新たな防災・減災システムをご提案し幅広く採用されましたことから、それらの売上が当社グループの業績を大きく牽引し、昨年・一昨年と2期連続で既往最高の業績を挙げる原動力となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は130億8千万円（前年同期比41%減）、営業利益は11億7千4百万円（同81%減）、経常利益は13億3千9百万円（同79%減）、四半期純利益は8億1千万円（同79%減）となりました。

売上予定の一部下期へのずれ込みなどもありましたが、通期では、期初に発表しております業績予想に沿った相応の実績を挙げ得るものと考えております。

今後の見通し

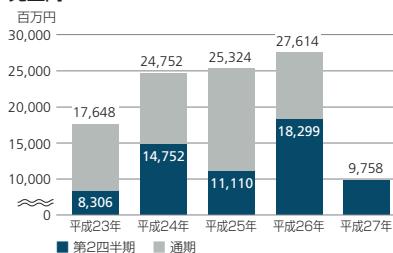
国を挙げての防災・減災の流れを受けて、防災事業の裾野は格段に広がっており、総合防災事業を事業の中核に据える当社グループと致しましては、現在推進中の中期経営計画「帝国繊維2016」の完遂を通して、エネルギー施設・産業基盤・重要施設の安全対策、今後懸念されるテロ対策・薬物対策・新たな感染症対策など、その社会的使命を果たしてまいれる所存です。

なお、その他事業に含まれておりました遊技場の経営は平成27年6月末をもって業務を中止いたしました。業績への影響は軽微であります。

セグメント別の概況

防災事業

売上高



防災事業では、空港用化学消防車などが売上を伸ばしましたが、前年同期の業績に寄与した官公庁向け防災資機材や電力会社など民間企業向けの大型防災資機材などが大きく落ち込んだ結果、売上高は97億5千8百万円（前年同期比47%減）となりました。

前年同期の業績拡大に貢献した大型防災資機材・装備・特殊車両のほか、防災・減災システムにつきましては、エネルギー・産業基盤災害対策推進の流れを受けて、引き続き堅調な需要が見込まれています。



空港化学消防車

繊維事業

売上高



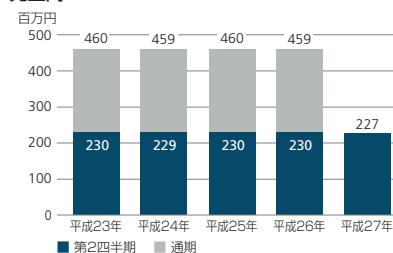
繊維事業では、民間企業向けの難燃生地や防護衣料用生地などが売上を伸ばしましたが、前年同期の売上に貢献した官公庁向け繊維資材の落ち込みなどもあり、売上高は30億3百万円（前年同期比13%減）となりました。



リネンオリジナルブランド「クラブハードマン」

不動産賃貸事業

売上高



不動産賃貸事業は、不動産賃貸事業は概ね順調に推移しており、売上高は2億2千7百万円（前年同期比1%減）となりました。



鹿沼ショッピングセンター



イオンタウン大垣

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

平成26年度よりスタートいたしました第三次中期経営計画「^{テイセン}帝国繊維2016」では、

《大規模災害への備えは社会の急務

我々はその事業をもって 役割を完遂しよう》

を目標に、以下のテーマを推進しております。

1. 大規模災害への十全な対応を用意する
2. 基幹産業分野に確固たる営業基盤を確立する
3. 公的組織の防災対応力強化・装備充実に貢献する
4. 当社事業の基盤である足元の事業を固め、更に磨きあげる
 - 消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服の4事業分野で
確固たる業界No.1の地位を確立する
 - リネン事業を復活・再生させる
5. 収益力の持続的強化を目指す

具体的に、当社グループが取り組んでいる主要なテーマは下記のとおりです。

大規模災害への十全な対応を用意する

東海・東南海・南海地震や首都直下地震など想定される巨大災害をはじめ、大規模化・多様化する大型自然災害への対応に向けて、国を挙げての防災・減災対策が急がれています。

災害多発時代の新たな災害や事故への対応に向けて、それぞれに最も相応しい資機材・装備・システムなど、具体性のあるビジネス・モデルを組み上げ、対策を用意してまいります。

- 大規模災害から国民の生命財産を守り、被害を最小限に防ぐ
- 大規模災害から社会・国民生活を支えるインフラを守る
- 巨大地震・災害が発生しても起こしてはならない最悪の事態を回避する

■ 基幹産業分野に確固たる営業基盤を確立する

大規模災害へ備え、国を挙げての防災・減災対策が進められる一方で、民間分野、とりわけ、エネルギー・産業基盤を担う企業群を中心に、大規模自然災害やテロ攻撃など特殊災害から自らを守り、その機能を維持するための自助の諸対策が焦眉の課題となっています。

大規模自然災害に端を発した基幹産業への打撃を最小限にとどめ、その生産設備・生産能力を守り、サプライ・チェーンを維持するなど、国民生活の崩壊を防ぐための対策を用意する各企業の努力に対して、民需防災事業を幅広く準備・推進してまいります。

■ 公的組織の防災対応力強化・装備充実に貢献する

広域・特殊大災害に対応し得る活力と機動力、優れた統率力を持つ使命感溢れる組織集団として、消防・警察・自衛隊など公的組織の防災対応力強化と装備の充実は、今後予想される大規模災害に備える社会の強い要請です。

東日本大震災で秩序ある整齐とした災害救助活動を展開したこれら公的組織は、国民を救う最後の砦であり、消防・警察・自衛隊などの災害対応力を強化し、効率的かつ大規模に運用できる装備の充実に協力し、適切な装備などを開発して提供することは、当社事業の大きな社会貢献と考えています。

■ 当社事業の基盤である足元の事業を固め、更に磨きあげる

第1 消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服の4事業分野で、確固たる業界No.1の地位を確立する！

市町村消防の広域化、緊急消防援助隊の増設と機動力強化、地域防災力の中核を担う消防団の装備充実など大規模化・多様化する災害に備えるための消防の防災対応力の強化が進んでいます。当社事業の根幹をなす消防防災の4つの事業分野において、技術・人・商材を更に磨きあげ、確固たる業界No.1の地位を確立することを目指します。

第2 リネン事業を復活・再生させる！

リネン事業は、原糸や生地などの取扱いに加え、消費者向け二次製品で良質な生活文化を支える事業です。健康で安全な天然繊維素材の各種リネン二次製品を幅広く提供し、リネンの持つ優れた特性をご愛用いただけますよう、引き続き、その普及に努めてまいります。

当社グループは、これらの事業の社会的使命や伝統ある事業の継承の持つ意味をしっかりと受け止め、創業以来の社是である「社会の安全と生活文化の向上」に貢献し、その負託に応えてまいります。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末 平成26年12月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	8,464	7,156
受取手形及び売掛金	3,892	6,715
有価証券	10,999	11,999
商品及び製品	3,026	3,678
仕掛品	974	961
原材料及び貯蔵品	492	405
繰延税金資産	188	128
その他	542	311
貸倒引当金	△ 0	△ 0
流動資産合計	28,580	31,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,862	1,923
機械装置及び運搬具（純額）	245	263
工具器具及び備品（純額）	174	158
土地	261	261
建設仮勘定	626	542
有形固定資産合計	3,170	3,148
無形固定資産		
借地権	0	0
その他	64	66
無形固定資産合計	65	67
投資その他の資産		
投資有価証券	21,308	23,385
繰延税金資産	28	29
その他	346	330
投資その他の資産合計	21,682	23,745
固定資産合計	24,918	26,961
資産合計	53,499	58,319

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末 平成26年12月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,745	4,089
1年内返済予定の長期借入金	66	44
未払法人税等	511	1,794
役員賞与引当金	40	72
その他	758	796
流動負債合計	4,121	6,796
固定負債		
長期借入金	117	155
長期預り保証金	951	981
繰延税金負債	6,744	8,195
退職給付に係る負債	103	107
資産除去債務	109	109
長期未払金	328	329
その他	343	400
固定負債合計	8,699	10,279
負債合計	12,821	17,075
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,387	1,387
資本剰余金	761	761
利益剰余金	24,593	24,568
自己株式	△ 373	△ 373
株主資本合計	26,368	26,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,006	14,640
繰延ヘッジ損益	38	118
その他の包括利益累計額合計	14,045	14,758
新株予約権	264	140
純資産合計	40,677	41,243
負債純資産合計	53,499	58,319

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 自：平成27年 1月 1日 至：平成27年 6月30日	前第2四半期連結累計期間 自：平成26年 1月 1日 至：平成26年 6月30日
売上高	13,080	22,061
売上原価	9,959	13,996
売上総利益	3,121	8,065
販売費及び一般管理費	1,946	1,976
営業利益	1,174	6,088
営業外収益	167	137
受取利息	6	4
受取配当金	147	90
持分法による投資利益	0	0
特許関連収入	-	20
その他	12	21
営業外費用	2	5
支払利息	2	2
為替差損	-	2
その他	0	1
経常利益	1,339	6,219
特別利益	0	8
固定資産売却益	0	8
特別損失	8	2
固定資産処分損	1	2
その他	7	-
税金等調整前四半期純利益	1,331	6,225
法人税、住民税及び事業税	540	2,598
法人税等調整額	△ 19	△ 198
少数株主損益調整前四半期純利益	810	3,825
四半期純利益	810	3,825

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 自：平成27年 1月 1日 至：平成27年 6月30日	前第2四半期連結累計期間 自：平成26年 1月 1日 至：平成26年 6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,379	8,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,726	△ 5,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 798	△ 819
現金及び現金同等物の増減額	4,307	2,133
現金及び現金同等物の期首残高	4,804	5,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,111	7,269

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

詳細な財務情報は、
当社IRサイトより
ご覧いただけます。



<http://www.teisen.co.jp/ir/index.html>

会社概要 (平成27年6月30日現在)

- 商号 帝国繊維株式会社 (TEIKOKU SEN-I Co.,Ltd.)
- 設立年月日 昭和25年7月1日 (創立明治40年7月26日)
- 資本金 1,387,098,000円
- 従業員数 130名 (連結ベース286名)
- 代表者 代表取締役会長 飯田 時章
- 主要な営業所および工場 本 社 / 東京都中央区日本橋二丁目1番10号
鹿沼工場 / 栃木県鹿沼市府所本町197番地

- 取締役および監査役

代表取締役会長	飯田 時章
代表取締役社長	白岩 強
常務取締役	長谷川芳春
常務取締役	香山 学
常務取締役	榎谷 徹
取締役	小田原芳樹
取締役	阪田 繁
取締役	瀧田 法明
取締役	高木 裕康
監査役	横山 良二
監査役	西浦 三郎
監査役	角 秀洋

●グループ企業の概要

会社名	資本金(百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
帝商株式会社	85	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計設備工事ならびに繊維製品の製造販売
キンバイ商事株式会社	50	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計設備工事ならびに繊維製品の製造販売
テイセン産業株式会社	123	100	重布、布帛、繊維製品の縫製加工販売、保険代理業
株式会社テイセンテクノ	30	100	防災車輛・機器の製造、保守

株式情報 (平成27年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 97,600,000株
- 発行済株式総数 27,121,400株 (自己株式941,887株を含む)
- 株主数 6,500名

●主な株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,587	6.06
株式会社みずほ銀行	1,295	4.94
丸紅株式会社	1,200	4.58
明治安田生命保険相互会社	1,000	3.81
ヒューリック株式会社	936	3.57
西松建設株式会社	800	3.05
ビービーエイチ ファイデリティ ビューリタン ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチュニティズ ファンド	800	3.05
株式会社モリタホールディングス	790	3.01
みずほ信託銀行株式会社	598	2.28
帝人株式会社	552	2.10

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 持株比率は自己株式 (941,887株) を控除して計算しています。

株主メモ

- 決算期 12月31日
- 定時株主総会 3月下旬
- 同総会基準日 12月31日
その他必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 中間配当確定日 中間配当を実施するときは、6月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

- 郵便物送付先
電話お問い合わせ先
お取扱店

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)
ご注意	未払配当金の支払 ^(※) 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買増・買取以外の株式売買はできません。ご売却いただく際には、特別口座からお取引の証券会社へ振替手続を行っていただく必要がございます。

※ 未払配当金の支払のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。

- 公告方法 電子公告の方法により行います。
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告を掲載する当社ホームページ
<http://www.teisen.co.jp/>

株主優待のお知らせ

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの株主の皆様にご理解いただくことを目的として、株主優待制度を始めました。

- 対象となる株主様 毎年12月31日現在の株主名簿に記録された100株（1単元）以上保有されている株主様
- 優待内容 QUOカード1,000円分と3,000円相当の自社（リネン）製品
- 実施時期 毎年3月下旬の発送を予定しております。

リネンを文化に——帝国繊維は、新しいリネン文化を創造していきます

リネンのある上質な日々を。最高級リネンを使用した「クラブハードマン」



Living Room

リネンに包み込まれる日常



Bedroom

リネンで味わう癒やしの眠り

色で。柄で。組み合わせで。暮らしの中に、リネンのうるおい。「リネンフルーツ」



Living Room

彩られた、やさしい空間



Dining & Kitchen

目で味わう、豊かな演出

リネンのオンラインショップ <http://www.linenshop.jp/>

テイセン

帝国繊維株式会社

東京都中央区日本橋二丁目1番10号

TEL (03)3281-3022 FAX (03)3275-2162

